

外国語活動学習指導案

日 時：平成 年 月 日（ ）
場 所： 小学校
対象学年： 年 組 名
指 導 者： （学級担任）

1 単元名 クイズ大会をしよう（Lesson 7 What's this?）

2 単元（題材）について

（単元観・題材観）

本単元では、ある物についてそれが何か尋ねる様々な種類のクイズを通して、“What's this?” “It's ~.” という表現を使う場面が設定されている。子どもたちは総じてクイズが好きであるので、クイズを楽しみながら表現に慣れ親しませるようになっていく。そのクイズの中で、英語の音の違いや同音異義語があるという日本語と英語の共通点などに気づかせ、言葉の面白さを実感させたい。また“Hint, please.” “That's right.” などの言葉も自然に発しながら、英語を使って積極的に相手とコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことをねらいとする。

（児童観）

（指導観）

第1時ではある物の一部だけを見てそれが何か考えさせながら楽しく英語での言い方を紹介し、英語にも発音が似ている語があることなど言葉の面白さに気づかせる。第2、3時では様々な種類のクイズを通して“‘What's this?’” “‘It's ~.’” の表現に慣れ親しませ、第4時ではスリーヒントクイズ大会を行って、楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことをねらいとする。クイズ大会が活発に発言する子どもたちだけが楽しむクイズにならないよう、答え方に留意して、全員が楽しめる形を取っていききたい。また出題者になる時、誰もわからないような難しいクイズを出して自己満足して終わらないように指導し、自分のヒントで答えがわかってもらえてうれしいと感じられるようなクイズ活動ができるよう指導していききたい。

（他教科との関連）

◆国語「漢字の読み方と使い方」（光村図書 国語 五）

二字以上の漢字が結びついて、特別な読み方をする漢字として「向日葵」を挙げ、英語の言い方も確認する。

3 単元目標

○教科の指導目標

- ・ある物について積極的にそれが何かと尋ねたり、答えたりしようとする。
- ・ある物が何かと尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ・日本語と英語の共通点や相違点から言葉の面白さに気づく。

○キャリア教育視点でのつけたい力

- ・クイズ大会などの活動を通して、相手に分かってもらえる楽しさを感じている。 【人間関係形成・社会形成能力】
- ・これは何かを相手にたずねる表現は、将来外国で買い物などをするとき使用できることに気付き、今学校で学んでいることと自分の生活(将来)とのつながりを考えている。 【キャリアプランニング能力】

4 単元評価規準

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

ある物について、積極的にそれが何かを尋ねたり、答えたりしようとしている。

【外国語への慣れ親しみ】

ある物が何か尋ねたり答えたりしている。

【言語や文化に関する気付き】

様々なものの言い方から、言葉の面白さに気づいている。

5 単元指導計画（時間配分 4時間）

	● 目標 【 】 Hi, friends の活動 【L】 = Let' s Listen 【C】 = Let' s Chant 【P】 = Let' s Play 【A】 = Activity ○ その他の活動	評価				
		コ	慣	気	評価規準	評価方法
1	●様々なものの言い方から言葉の面白さに気づくとともに、身の回りの物を表す語やある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を知る。 【L】下の絵は何か考えよう。 【P】ポインティングゲーム 【C】What' s this?			○	(気)様々なものの言い方から、言葉の面白さに気づいている。	行動観察 ふり返しカードの点検
2	●身の回りの物を表す語やある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【C】What' s this? 【A】①シルエットクイズ ②漢字クイズ ③スリーヒントクイズ ④パズルクイズ			○	(慣)ある物が何か尋ねたり答えたりしている。	行動観察 ふり返しカードの点検
3	●ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【C】What' s this? ○ブラックボックスクイズ ○ジェスチャークイズ ○クイズ大会をしよう(準備)			○	(慣)ある物が何か尋ねたり答えたりしている。	行動観察 ふり返しカードの点検
4	●ある物について、それが何かを積極的に尋ねたり答えたりしている。 【C】What' s this? ○クイズ大会 ○クイズ大会を振り返る	○			(コ)ある物について、積極的にそれが何かを尋ねたり答えたりしようとしている。	行動観察 ふり返しカードの点検